

「高校スペイン語教師の会」設立に向けて

第12回 JACTFLシンポジウム

2024年3月10日(日) 於：上智大学

遠藤 杏、各務 恭子、高野 正之
寺尾 美登里、日比野 規生、廣瀬 瞳

発表の流れ

1. 高校スペイン語教育の現状と課題／会設立の背景
2. 外国語の教員ネットワーク
 - ・他の言語における教員ネットワークの状況
 - ・スペイン語の状況
3. 会設立による可能性
4. これまでの準備状況と今後の予定
5. 高校の外国語教員ネットワークの展望

1. 高校スペイン語教育の現状と課題／会設立の背景

高校のスペイン語の現場では、学習指針等が共有されず、各教員に委ねられている部分が多い

- 学習指導要領：高校の英語以外の外国語に関しては「英語と準ずる」とのみ記載されている
- 教科書：「高校生向け」と明示された教科書は1冊で、大学生や一般向けのものを使用するかもしくは高校教員が自作している
- 共通テスト：スペイン語の場合は共通テストも存在しない
＜参考＞共通テストにある外国語：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語

⇒困った時に相談したり、指導法や授業運営に関するアイデアを共有する人が周りにいない

孤軍奮闘する高校のスペイン語の教師が困った時に相談したり、指導法や授業運営に関するアイデアを共有できたりする場、またはつながりが必要

⇒「高校スペイン語教師の会」のような組織があると良い

2. 外国語の教員ネットワーク（スペイン語以外） 英語を除く

<他の言語における高校教員ネットワーク>

- 中国語： 1982～ 高等学校中国語教育研究会（高中研）
- ドイツ語： 1988～ 高等学校ドイツ語教育研究会（高独研）
- 韓国語： 1999～ 高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク（JAKEHS）
- フランス語： 2002～ 日仏高等学校ネットワーク（Colibri）

規模や趣旨に差はあるが、高校の教員同士がつながる場が20～30年以上前からある

2. 外国語の教員ネットワーク（スペイン語の状況）

(大森ほか 2019)

GIDE

(スペイン語教育研究会)

- 2003年～、東京中心
- 会員数約50人(例会出席者約20名)
- 会員の半分がネイティブ教員
- 例会/議事録等すべてスペイン語
- 『スペイン語学習のめやす』等

TADESKA

(関西スペイン語教授法ワークショップ)

- 2006年～、関西中心
- 登録者数約100人(例会出席者約10名)
- 日本人/ネイティブ教員の割合 3 : 1
- 外国語教育の知識や実践に関するテーマ
- 春休みに「関西スペイン語教師の集い」

高校の教員に特化したスペイン語の高校の教員同士がつながる場がない
⇒高校の教員に寄り添った組織を、独立して新たに作る必要がある

3. 会設立による可能性

教育実習、見学先の提供
採用情報の共有



免許状のある教員や
ネイティブ教師の紹介

授業に関する情報共有

(教材/観点別評価/定期考査/アクティビティ等)



高校生向けの
学習指針や教材作成



高校生の留学支援

高校生向けの
スピーチコンテスト



4. これまでの準備状況と今後の予定

<これまでの準備状況>

- 準備メンバーでのミーティング（2023年11月～、計7回）



- シンポジウム「スペイン語教育における高大接続の現状と未来」
@昭和女子大学（2024年3月3日、口頭発表）

4. これまでの準備状況と今後の予定

<今後の予定> 「高校スペイン語教師の交流会」

2024年3月24日 (日) 10:00-12:15 Zoom開催

概要：全国の高校のスペイン語教師がオンラインで集まり、
教師同士のつながりを持てる場をつくる

- グループセッション「授業の成功例」「お悩み相談・Q&A」
- 全体セッション「現場にある課題と教師の会に期待すること」
- ※ 参加者にアンケート等を実施し、会設立に向けたニーズを調査

Reunión de intercambio de los profesores de bachillerato
高校スペイン語教師の交流会 第1回

申し込みフォームにて
皆様で準備しているお悩みや
他の先生への質問を
募集します!

10:00 - 10:15 始めの挨拶、企画説明
10:15 - 10:50 グループセッション (1)
テーマ「私の授業の成功例」
10:50 - 11:15 グループセッション (2)
テーマ「お悩み相談・Q&A」
11:15 - 11:20 休憩
11:20 - 12:05 全体ディスカッション
テーマ「現場にある課題と教師の会に期待すること」
12:05 - 12:15 終わりの挨拶

高校のスペイン語の先生方へ

高校でスペイン語を教えている教師の多くは
相談・情報共有できる人が周りにおらず
共通となる学習指針や教材がない中で
それぞれの環境に合わせて試行錯誤しながら
授業に取り組まれていると思います。

そこで、そのように孤单奮闘する
高校のスペイン語の教師が一堂に会し
教師同士のつながりを持てる場を企画します！
同じ状況や悩みを共有する教師同士が
全国から集まり、知り合うことで
高校のスペイン語教師のネットワークづくりの
第一歩となればと考えています。

2024.3.24 (日)
10:00-12:15 @Zoom

言語：日本語
対象：高校でスペイン語を教えている方
(新年度から教える方も大歓迎！)

お申し込み方法

右のQRコードから必要事項を
記入の上お申込みください。
※お申し込み期限：2024年3月17日(日)

お問い合わせ先：spanish.hs.teachers@gmail.com

⇒2024年夏に第2回目交流会開催を検討中

最終的に2025年くらいに「高校スペイン語教師の会(仮)」を立ち上げることが目標

5. 高校の外国語教員ネットワークの可能性

(英語を含む) 他の言語の教員ネットワークとの連携・交流の可能性

■ 講演・研修会：言語の壁を超えた研修や交流

(例) JAKEHS 2023 年度全国研修会

→中国語の教員を呼んで講演「高校初修外国語における観点別評価について」

■ 人材ネットワーク：学校で先生を探している時に他の言語と呼びかけ合える

■ 授業のアイデア共有

(例) 『授業を活性化するための70のレシピ』 (弘学社)

⇒高校の外国語教育に携わる教員が言語を超えて繋がることで、
高校における外国語教育全体の底上げに寄与できるのではないか



<参考文献>

- 青砥清一 (2018)「高校生向けのスペイン語テキストについて—言語と文化を学ぶ複言語型教材の開発—」『言語メディア研究センター年報』1, 29-45.
- アスティゲタベルナルド (2012)「中高におけるスペイン語教授法—現状と問題点、改善のための情報と提言—」『神奈川県立国際文化アカデミア紀要』1, 85-99.
- 大森洋子・四宮瑞枝・小川雅美 (2019)「スペイン語教育研究会紹介—GIDEとTADESKA—」『多言語・複言語教育研究』7, 130-141.
- 高等学校ドイツ語教育研究会 (1989)『高等学校ドイツ語教育研究会会報 第1号』.
- 後藤雄介・石井登・浜邦彦・岩村健二郎 (2010)「高等学校におけるスペイン語教育の現状と展望」『早稲田教育評論』24(1), 45-62.
- 寸田知恵 (2014)「高校生用スペイン語教科書作成のための一考察」『関西大学外国語教育フォーラム』13, 99-106.
- 文部科学省 (2018)『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編 英語編』開隆堂出版.
- 山崎吉朗 (2020)「大学入学共通テストへの要望—大学入試センター、文科省への要望—」『多言語・複言語教育研究』8, 194-209.

<参考ウェブサイト>

- 高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク (JAKEHS) <https://jakehs.net/> [2024-03-01]
- 高等学校中国語教育研究会 (高中研) <http://www.kochuken.org/> [2024-03-01]
- 日仏高等学校ネットワーク (Colibri) <https://reseaucolibri-francejapon.org/accueil/> [2024-03-01]